

岸田総理による林業現場の視察 (首相官邸ホームページより)

令和5年10月7日、岸田総理は、栃木県及び茨城県を訪問しました。
総理は、栃木県那須烏山市で搾乳・給餌作業の説明を受け、給餌体験をした後、酪農関係者との車
座対話を行いました。

その後、茨城県常陸大宮市で伐採・造材作業の視察を行い、次に、製材工場の視察を行い、最後に
本日の訪問等について会見を行いました。





栃木県及び茨城県訪問についての会見

(略)そして午後の視察においては、茨城県において、高性能の林業機械を導入した杉の伐採現場、そして、ここにありますような、杉から集成材を製造する大規模製材工場を視察させていただきました。

その中で、特に本年5月、花粉症対策の全体像を策定いたしました。これに基づいて、発生源対策に集中的に取り組む必要があります。このため、花粉症対策関係閣僚会議を来週、開催したいと思っております。

このエリアも念頭に、杉の人工林の伐採・植え替え等を重点的に実施する区域、これを本年度中に設定して、重点的に、伐採面積を増加させてまいります。そして生産性向上に向けて、本日拝見したような、高性能林業機械の導入、これを支援していくことも考えてまいります。

そして、伐採した杉材の需要を拡大するため、住宅資材のスギ材製品への転換を促進していく、これも考えてまいります。こうした内容を含めて、花粉症対策の初期集中対応パッケージ、これを取りまとめまいります。

そしてその上で、今月まとめることを考えている経済対策に、この内容を盛り込むことによって、早急の実施に移していく、こうした取組を進めていきたいと考えています。

以上、栃木県、茨城県両県における視察について、今後への取組等を説明させていただきました。以上です。